安全データシート

Copyright,2026, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	10-9092-7	**版**	2.00
発行日	2026/06/16	**前発行日**	2025/02/12

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M™ Scotch-Weld™ Structural Adhesive Primer EC-3924B

３M ストックナンバー

62-3944-6501-7　62-3944-6550-4　62-3944-7550-3

7000046547　7000046548　7000046548　7100027072

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

工業用途

1.3. 会社情報

供給者　スリーエムジャパン株式会社（輸入者・製造者 スリーエムジャパンイノベーション株式会社）
所在地　本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門　エアロスペース ＆ ディフェンスビジネス
電話番号　ナビダイヤル　0570-011-511

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分２
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
皮膚感作性： 区分１
生殖毒性：区分１
発がん性： 区分１
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎　腐食性　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム

危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H318	重篤な眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H350	発がんのおそれ
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着

	用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

反復曝露すると皮膚の乾燥またはひび割れを起こすかもしれない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ジアセトンアルコール	123-42-2	36
メチルエチルケトン	78-93-3	34
テトラヒドロフラン	109-99-9	18
エポキシ樹脂	25036-25-3	< 10
水	7732-18-5	< 5.0
アセトン	67-64-1	2.5
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	1.9
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	< 1.0
フェノールポリマー	9003-35-4	< 0.50
メチルイソブチルケトン	108-10-1	0.50
トルエン	108-88-3	0.50
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	0.46
メチルアルコール	67-56-1	0.28

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嗄声、鼻や喉の痛み）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
アルデヒド	燃焼中
ホルムアルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。 区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火

源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　指定された個人保護具を使用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
１－メトキシー２－プロパノール	107-98-2	ACGIH	TWA：50ppm、STEL：100ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
１－メトキシー２－プロパノール	107-98-2	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間) ：50 ppm	25℃1気圧空気中

メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACGIH	TWA：20ppm、STEL：75ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	JSOH OELs	TWA(推奨)(8時間):82 mg/m3 (20ppm)	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的不十分)、皮膚
トルエン	108-88-3	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質。聴器毒性物質
トルエン	108-88-3	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
トルエン	108-88-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：188 mg/m3(50 ppm)	皮膚
テトラヒドロフラン	109-99-9	ACGIH	TWA：50ppm、STEL：100ppm	A3: 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明。経皮吸収の危険性
テトラヒドロフラン	109-99-9	ISHL	TLV（８時間）：50 ppm	
テトラヒドロフラン	109-99-9	JSOH OELs	TWA(8時間):148 mg/m3(50 ppm)	2B: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的不十分)、皮膚
ジアセトンアルコール	123-42-2	ACGIH	TWA：10 ppm	
ジアセトンアルコール	123-42-2	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):20 ppm	25℃1気圧空気中
メチルアルコール	67-56-1	ACGIH	TWA：200ppm、STEL：250ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルアルコール	67-56-1	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルアルコール	67-56-1	JSOH OELs	TWA（８時間）：260 mg/m3(200 ppm)	皮膚
アセトン	67-64-1	ACGIH	TWA:250 ppm;STEL:500 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
アセトン	67-64-1	ISHL	TLV（８時間）：500 ppm	
アセトン	67-64-1	JSOH OELs	TWA(8 hours):475 mg/m3(200 ppm)	
クロム酸及びその塩(Crとして)	7789-06-2	ISHL	TLV(Crとして)(8時間):0.05mg/m3	
六価クロム化合物(Crとして)	7789-06-2	JSOH OELs	TWA（クロムとして）（８時間）： 0.05 mg/m3	皮膚感作性が既知、呼吸器感作性の可能性。
重クロム酸及びその塩(Crとして)	7789-06-2	ISHL	TLV(Crとして)(8時間):0.05mg/m3	
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA:75 ppm;STEL:150 ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（推奨)(8 時間):221 mg/m3 (75 ppm)	皮膚

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) ： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。　防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途（例：スプレー、飛沫発生が予見される用途など）に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	黄色
臭い	強い溶剤臭。
臭いの閾値	*データはない。*

ｐH	*データはない。*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=66 °C
引火点	-14.4 °C ［*試験方法：*クローズドカップ法］［*詳細：*テトラヒドロフラン］
蒸発速度	>=2 ［*参照基準：*エーテル＝１］
引火性	引火性液体： 区分２
燃焼点（下限）	1.8 容量%
燃焼点（上限）	11.8 容量%
蒸気圧	<=162 mmHg［試験条件： 77 ° F］
相対蒸気密度	2.5 ［*参照基準：*空気＝１］
密度	0.89 g/ml
比重	0.89 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	321 °C［*詳細：*テトラヒドロフラン］
分解温度	*データはない。*
動粘性率	11.2 mm2/sec
揮発性有機化合物	846 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］
揮発分	95 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	907 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
強酸化性物質
強酸

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
吸入すると有害のおそれ　気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
皮膚の脱脂（長期または反復暴露）：予想される徴候と症状としては、局所的な発赤、かゆみ、皮膚の乾燥及びひび割れがある。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
ジアセトンアルコール	皮膚	ウサギ	LD50 13,645 mg/kg
ジアセトンアルコール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 7.6 mg/l
ジアセトンアルコール	経口摂取	ラット	LD50 3,002 mg/kg
テトラヒドロフラン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
テトラヒドロフラン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 54 mg/l
テトラヒドロフラン	経口摂取	ラット	LD50 1,650 mg/kg
アセトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,688 mg/kg
アセトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 76 mg/l
アセトン	経口摂取	ラット	LD50 5,800 mg/kg
エポキシ樹脂	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
１－メトキシ－２－プロパノール	皮膚	ウサギ	LD50 11000-13800 mg/kg
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 56 mg/l
１－メトキシ－２－プロパノール	経口摂取	ラット	LD50 6,100 mg/kg
メチルイソブチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 16,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 11 mg/l
メチルイソブチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 3,038 mg/kg
トルエン	皮膚	ラット	LD50 12,000 mg/kg
トルエン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 30 mg/l
トルエン	経口摂取	ラット	LD50 5,550 mg/kg
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,000 mg/kg
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 1.7 mg/l
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 > 4,000 mg/kg
クロム酸ストロンチウム (VI)	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
クロム酸ストロンチウム (VI)	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.27 mg/l
クロム酸ストロンチウム (VI)	経口摂取	ラット	LD50 3,118 mg/kg
メチルアルコール	皮膚		LD50 推定値 1,000 - 2,000 mg/kg
メチルアルコール	吸入－蒸気		LC50 推定値 10 - 20 mg/l

メチルアルコール	経口摂取		LD50 推定値 50 - 300 mg/kg
フェノールポリマー	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フェノールポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 2,900 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
メチルエチルケトン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
ジアセトンアルコール	ウサギ	刺激性なし
テトラヒドロフラン	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
アセトン	マウス	ごく僅かな刺激臭
エポキシ樹脂	ウサギ	軽度の刺激
１－メトキシ－２－プロパノール	入手できない	ごく僅かな刺激臭
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
トルエン	ウサギ	刺激物
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
クロム酸ストロンチウム（VI）	専門家による判断	軽度の刺激
メチルアルコール	ウサギ	軽度の刺激
フェノールポリマー	ヒト及び動物	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
ジアセトンアルコール	ウサギ	激しい刺激
テトラヒドロフラン	ウサギ	腐食性
アセトン	ウサギ	激しい刺激
エポキシ樹脂	ウサギ	中程度の刺激
１－メトキシ－２－プロパノール	入手できない	軽度の刺激
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
トルエン	ウサギ	中程度の刺激
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	ウサギ	軽度の刺激
クロム酸ストロンチウム（VI）	ウサギ	軽度の刺激
メチルアルコール	ウサギ	中程度の刺激
フェノールポリマー	ヒト及び動物	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ジアセトンアルコール	モルモット	区分に該当しない。
テトラヒドロフラン	ヒト及び動物	区分に該当しない。
エポキシ樹脂	ヒト及び動物	感作性あり
１－メトキシ－２－プロパノール	モルモット	区分に該当しない。
メチルイソブチルケトン	モルモッ	区分に該当しない。

	ト	
トルエン	モルモット	区分に該当しない。
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	ヒト及び動物	感作性あり
クロム酸ストロンチウム（VI）	類似化合物	感作性あり
メチルアルコール	モルモット	区分に該当しない。
フェノールポリマー	ヒト及び動物	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂	ヒト	区分に該当しない。
フェノールポリマー	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
ジアセトンアルコール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
テトラヒドロフラン	In vitro	変異原性なし
テトラヒドロフラン	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エポキシ樹脂	In vivo	変異原性なし
エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
１－メトキシ－２－プロパノール	In vitro	変異原性なし
メチルイソブチルケトン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vivo	変異原性なし
フェノール-フォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
クロム酸ストロンチウム（VI）	In vivo	変異原性
メチルアルコール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルアルコール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
テトラヒドロフラン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
アセトン	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし
エポキシ樹脂	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
トルエン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

トルエン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
クロム酸ストロンチウム（VI）	特段の規定はない。	類似化合物	発がん性
メチルアルコール	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
ジアセトンアルコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジアセトンアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	44 日
ジアセトンアルコール	経口摂取	発生機能に有毒	ウサギ	NOAEL 100 mg/kg/日	妊娠期間中
テトラヒドロフラン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 782 mg/kg/日	2 世代
テトラヒドロフラン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 782 mg/kg/日	2 世代
テトラヒドロフラン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 305 mg/kg/日	2 世代
テトラヒドロフラン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.8 mg/l	妊娠期間中
アセトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,700 mg/kg/日	13 週
アセトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.2 mg/l	器官発生期
エポキシ樹脂	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
エポキシ樹脂	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11 mg/l	2 世代
１－メトキシ－２－プロパノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,328 mg/kg/日	2 世代
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.7 mg/l	2 世代
１－メトキシ－２－プロパノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,328 mg/kg	2 世代
１－メトキシ－２－プロパノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 370 mg/kg	妊娠期間中
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.7 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代

メチルイソブチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	器官発生期
トルエン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.3 mg/l	1 世代
トルエン	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	LOAEL 520 mg/kg/日	妊娠期間中
トルエン	吸入した場合	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
クロム酸ストロンチウム（VI）	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸ストロンチウム（VI）	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸ストロンチウム（VI）	経口摂取	発生機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	
メチルアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg/日	21 日
メチルアルコール	経口摂取	発生機能に有毒	マウス	LOAEL 4,000 mg/kg/日	器官発生期
メチルアルコール	吸入した場合	発生機能に有毒	マウス	NOAEL 1.3 mg/l	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
ジアセトンアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
ジアセトンアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
ジアセトンアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
ジアセトンアルコール	経口摂取	血液	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 1,882 mg/kg	
ジアセトンアルコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,882 mg/kg	適用しない。
テトラヒドロフラン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
テトラヒドロフラン	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。		NOAEL 入手できない	
テトラヒドロフラン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2.9 mg/l	4 時間
テトラヒドロフラン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	NOAEL 180 mg/kg	適用しない。
アセトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	

アセトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
アセトン	吸入した場合	免疫系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 時間
アセトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	
アセトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
エポキシ樹脂	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
１－メトキシ－２－プロパノール	皮膚	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 1,800 mg/kg	13 週
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	LOAEL 0.1 mg/l	2 時間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	入手できない
メチルイソブチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 900 mg/kg	適用しない。
トルエン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	免疫系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.004 mg/l	3 時間
トルエン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
クロム酸ストロンチウム（VI）	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸ストロンチウム（VI）	経口摂取	腎臓および膀胱	臓器への影響	類似化合物	NOAEL 入手できない	
メチルアルコール	吸入した場合	失明	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メチルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない
メチルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	6 時間
メチルアルコール	経口摂取	失明	臓器への影響	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
メチルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
フェノールポリマー	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7	90 日

	場合				mg/l	
メチルエチルケトン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した場合	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	吸入した場合	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/日	90 日
ジアセトンアルコール	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.5 mg/l	6 週
ジアセトンアルコール	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.5 mg/l	6 週
ジアセトンアルコール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	13 週
ジアセトンアルコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	13 週
ジアセトンアルコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	13 週
ジアセトンアルコール	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	13 週
ジアセトンアルコール	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	13 週
ジアセトンアルコール	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	13 週
テトラヒドロフラン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	12 週
テトラヒドロフラン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.9 mg/l	12 週
テトラヒドロフラン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	105 週
テトラヒドロフラン	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	2 週
アセトン	皮膚	眼	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	3 週
アセトン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 3 mg/l	6 週
アセトン	吸入した場合	免疫系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 日
アセトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 119 mg/l	入手できない
アセトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 45 mg/l	8 週
アセトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 45 mg/l	8 週
アセトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/日	13 週
アセトン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	13 週
アセトン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	13 週
アセトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,896 mg/kg/日	14 日
アセトン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,400	13 週

					mg/kg/日	
アセトン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	13 週
アセトン	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg	13 週
アセトン	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 11,298 mg/kg/日	13 週
アセトン	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 11,298 mg/kg/日	13 週
エポキシ樹脂	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エポキシ樹脂	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
エポキシ樹脂	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
１－メトキシ－２－プロパノール	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 1,800 mg/kg/日	13 週
１－メトキシ－２－プロパノール	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 1,000 mg/kg/日	3 週
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.7 mg/l	13 週
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11 mg/l	13 週
１－メトキシ－２－プロパノール	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.2 mg/l	10 日
１－メトキシ－２－プロパノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 920 mg/kg/日	13 週
１－メトキシ－２－プロパノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 920 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.8 mg/l	2 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.4 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.1 mg/l	14 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日

メチルイソブチルケトン	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/日	120 日
メチルイソブチルケトン	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/日	120 日
メチルイソブチルケトン	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/日	120 日
メチルイソブチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/日	120 日
メチルイソブチルケトン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/日	120 日
トルエン	吸入した場合	聴覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	眼	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 2.3 mg/l	15 月
トルエン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	4 週
トルエン	吸入した場合	免疫系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	20 日
トルエン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	8 週
トルエン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	13 週
トルエン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	13 週
トルエン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,500 mg/kg/日	13 週
トルエン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,500 mg/kg/日	13 週

トルエン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 600 mg/kg/日	14 日
トルエン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/日	28 日
トルエン	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/日	4 週
クロム酸ストロンチウム（VI）	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸ストロンチウム（VI）	経口摂取	腎臓および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	類似化合物	NOAEL 入手できない	
メチルアルコール	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6.55 mg/l	4 週
メチルアルコール	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 13.1 mg/l	6 週
メチルアルコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	90 日
メチルアルコール	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/日	90 日
フェノールポリマー	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
エポキシ樹脂	25036-25-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>11 mg/l
エポキシ樹脂	25036-25-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
エポキシ樹脂	25036-25-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エポキシ樹脂	25036-25-3	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
エポキシ樹脂	25036-25-3	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.3 mg/l

フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EbC50	1.8 mg/l
フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	ニジマス	類似コンパウンド	96 時間	LC50	2 mg/l
フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	1.6 mg/l
フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	0.3 mg/l
フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	液状化	類似コンパウンド	3 時間	IC50	>100 mg/l
フェノールポリマー	9003-35-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	藻類または他の水生植物	実験	72 時間	ErC50	6,745 mg/l
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	カイアシ類	実験	48 時間	EC50	2,954 mg/l
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	ゴールデンオルフェ（鯉）	実験	96 時間	LC50	6,812 mg/l
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>1,000 mg/l
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	23,300 mg/l
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
アセトン	67-64-1	藻類または他	実験	96 時間	EC50	11,493 mg/l

		の水生植物				
アセトン	67-64-1	無脊椎動物	実験	24 時間	LC50	2,100 mg/l
アセトン	67-64-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5,540 mg/l
アセトン	67-64-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1,000 mg/l
アセトン	67-64-1	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	1,700 mg/l
アセトン	67-64-1	シマミミズ	実験	48 時間	LC50	>100
ジアセトンアルコール	123-42-2	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	825 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	Inland Silverside	実験	96 時間	LC50	420 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
ジアセトンアルコール	123-42-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	16.9 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	海産二枚貝(ムール貝)	実験	96 時間	LC50	15,900 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	15,400 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	22,000 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	底生生物	実験	96 時間	LC50	54,890 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3,289 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	9.96 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	メダカ	実験	8.33 日	NOEC	158,000 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	122 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
メチルアルコール	67-56-1	大麦	実験	14 日	EC50	15,492 mg/kg (乾燥重量)
メチルアルコール	67-56-1	シマミミズ	実験	63 日	EC50	26,646 mg/kg (乾燥重量)
メチルアルコール	67-56-1	トビムシ	実験	28 日	EC50	5,683 mg/kg (乾燥重量)

メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	400 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>200 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>179 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	32 日	NOEC	56.2 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	78 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	魚	推定値	96 時間	LC50	81.5 mg/l
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	緑藻類	推定値	72 時間	ErC50	0.912 mg/l
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.0806 mg/l
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	カワマス	推定値	8 月	NOEC	0.04 mg/l
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	ウキクサ	推定値	7 日	NOEC	0.43 mg/l
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	緑藻類	推定値	72 時間	ErC10	0.04 mg/l
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.018 mg/l
クロム酸スト	7789-06-2	液状化	推定値	3 時間	IC50	120 mg/l

ロンチウム（VI）						
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	節足動物	推定値	28 日	NOEC	200 ppm 摂取
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	レタス	推定値	14 日	EC50	7 mg/kg（乾燥重量）
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	シマミミズ	推定値	14 日	EC50	3,100 mg/kg（乾燥重量）
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	土壌微生物	推定値	4 日	NOEC	<1 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	液状化	実験	3 時間	IC50	460 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,160 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	3,485 mg/l
テトラヒドロフラン	109-99-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	33 日	NOEC	216 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	96 時間	LC50	5.5 mg/l
トルエン	108-88-3	テナガエビ	実験	96 時間	LC50	9.5 mg/l
トルエン	108-88-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	12.5 mg/l
トルエン	108-88-3	トノサマガエル	実験	9 日	LC50	0.39 mg/l
トルエン	108-88-3	カラフトマス	実験	96 時間	LC50	6.41 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.78 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	40 日	NOEC	1.39 mg/l
トルエン	108-88-3	珪藻	実験	72 時間	NOEC	10 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.74 mg/l
トルエン	108-88-3	液状化	実験	12 時間	IC50	292 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	29 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	24 時間	EC50	84 mg/l
トルエン	108-88-3	シマミミズ	実験	28 日	LC50	>150 mg/kg(体重)
トルエン	108-88-3	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	<26 mg/kg（乾燥重量）

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エポキシ樹脂	25036-25-3	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/ThOD	OECD 301F
エポキシ樹脂	25036-25-3	推定値 加水分解		加水分解性半減期	117 時間（t 1/2)	

フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	類似コンパウンド 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	16 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	117 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
フェノールポリマー	9003-35-4	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	3 %BOD/ThOD	
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
アセトン	67-64-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	78 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
アセトン	67-64-1	実験 光分解		光分解半減期 (空気中)	147 日 (t 1/2)	
ジアセトンアルコール	123-42-2	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	98.5 DOC除去%	
メチルアルコール	67-56-1	実験 生分解性	3 日	%	91 %	
メチルアルコール	67-56-1	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	92 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
メチルアルコール	67-56-1	実験 光分解		光分解半減期 (空気中)	35 日 (t 1/2)	
メチルアルコール	67-56-1	実験 好気性土壌代謝	5 日	二酸化炭素の発生	53.4 CO2発生量/理論CO2発生量%	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83 %BOD/ThOD	OECD 301F
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 光分解		光分解半減期 (空気中)	2.3 日 (t 1/2)	
クロム酸ストロンチウム (VI)	7789-06-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
テトラヒドロフラン	109-99-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	39 %BOD/ThOD	
トルエン	108-88-3	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	80 %BOD/ThOD	APHA標準試験水/排水
トルエン	108-88-3	実験 光分解		光分解半減期 (空気中)	5.2 日 (t 1/2)	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エポキシ樹脂	25036-25-3	推定値 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	3.242	
フェノールーフォルムアルデヒドポリマーグリシジルエーテル	28064-14-4	類似コンパウンド 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	3.6	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
フェノールポリマー	9003-35-4	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.57	
１－メトキシ－２－プロパノール	107-98-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-0.437	
アセトン	67-64-1	実験 BCF－その他		生物濃縮係数	0.65	
アセトン	67-64-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-0.24	
ジアセトンアルコール	123-42-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-0.14	
メチルアルコール	67-56-1	実験 BCF - 魚	3 日	生物濃縮係数	<4.5	
メチルアルコール	67-56-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-0.77	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	1.9	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
クロム酸ストロンチウム（VI）	7789-06-2	推定値 BCF－その他		生物濃縮係数	610-3400	
テトラヒドロフラン	109-99-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	0.45	
トルエン	108-88-3	実験 BCF－その他	72 時間	生物濃縮係数	90	
トルエン	108-88-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	2.73	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １２６３ 塗料関連物質

輸送分類（IMO）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、毒劇物取締法等の法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
毒物及び劇物取締法：劇物
労働安全衛生法：施行令１８条の２ 名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
消防法：第四類第一石油類
船舶安全法、航空法：引火性液体類
労働安全衛生法：施行令別表第一 危険物
化管法：指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
１－メトキシ－２－プロパノール	プロピレングリコールモノメチルエーテル	該当	該当	該当

アセトン	アセトン	該当	該当	該当
ジアセトンアルコール	ジアセトンアルコール	該当	該当	該当
メチルアルコール	メタノール	該当	該当	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
メチルイソブチルケトン	メチルイソブチルケトン	該当	該当	該当
クロム酸ストロンチウム（VI）	クロム酸及びクロム酸塩	該当	該当	該当
テトラヒドロフラン	テトラヒドロフラン	該当	該当	該当
トルエン	トルエン	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
クロム酸ストロンチウム（VI）	六価クロム化合物	88	特定第1種指定化学物質
テトラヒドロフラン	テトラヒドロフラン	674	第1種指定化学物質

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
クロム酸ストロンチウム（VI）	クロム酸塩類及びこれを含有する製剤	劇物

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.
セクション１：担当部門の電話番号 情報修正.
セクション１：担当部門名 情報修正.
セクション２：絵表示 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：保護具 － エプロンについて 情報の追加.
セクション８：保護具 - 皮膚/体幹 情報の削除.
セクション８：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の削除.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の追加.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除.
セクション９：動粘性率情報 情報修正.
セクション９：蒸気圧 情報修正.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.

セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：毒物及び劇物取締法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。